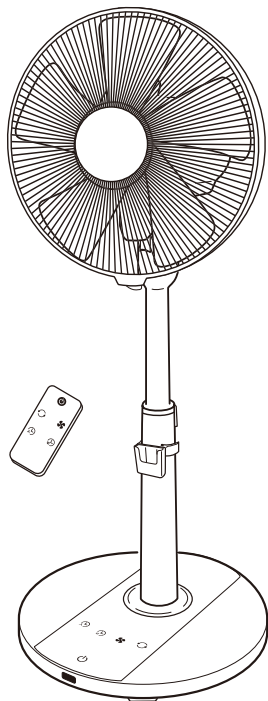


取扱説明書

リビング扇風機
保証書付（裏表紙）

ANGV-FAR30-B



経年劣化によるご注意

長年使用している製品は、火災などの事故につながるおそれがあります。安心してご使用いただくため、長期間使用しましたら安全のため必ず点検することをおすすめします。

ご使用環境及びご使用时间などが異なるため、点検時期、点検方法及び点検費用については販売店またはエディオンお客さま相談センターにご相談ください。

この度は、e angle リビング扇風機をお買い上げいただき
まことにありがとうございます。

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき
正しいご使用をお願いいたします。

また、この取扱説明書はいつでも見ることができる所に
保管してください。

この製品は日本国内用に設計されていますので、
日本国外では使用できません。
この取扱説明書の内容は改善のため、
予告なく変更することがあります。

FOR USE IN JAPAN ONLY.

もくじ

| | |
|----------------|-----|
| 安全上のご注意 | 1 |
| 各部のなまえ | 3 |
| 組み立てかた | 4 |
| 使いかた | 6 |
| お手入れのしかた | 11 |
| 保管のしかた | 11 |
| 故障かな？と思ったら | 12 |
| 仕様 | 12 |
| 設計上の標準使用期間について | 13 |
| アフターサービス | 14 |
| 保証書 | 裏表紙 |

安全上のご注意

- ・ ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ・ ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、人体への危害や物的損害を未然に防止するためのものです。

※表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

※お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



警告

この表示は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

改造はしない。修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない。

- 火災・感電・ケガの原因になります。
- 修理は販売店または家電の119番へご相談ください。

交流100V以外では使用しない。

- 感電・火災の原因になります。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントへの差し込みがゆるいときは使用しない。

- 感電・ショート・発熱・発火の原因になります。

電源コードや電源プラグを破損するようなことはしない。

(傷付けたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理にまげたり、ねじったり、引っ張ったり、重いもののをせたり、束ねたりしない。)

- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・発火の原因になります。

組み立て時や収納時に羽根・ガードをつけずに高さ調整ボタンを押したり、運転を開始しない。

- モーター部が飛び出してケガの原因になります。

製品のすき間などに金属片、棒、ピンや針金などを差し込んだり、水や液体類をこぼさない。

- 感電や故障の原因になります。

水につけたり、水をかけたりしない。

- 感電・ショート・発火の原因になります。

運転中は絶対にガードに触れない。

- 羽根割れやケガの原因になります。

お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く。また、ぬれた手で抜き差ししない。

- 感電やケガをすることがあります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

- 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

包装用ポリ袋は乳幼児の手の届かないところに保管する。

- 誤ってかぶったときに窒息し、死亡する原因になります。

電源プラグのほこりは定期的にとる。

- プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり火災、感電、故障の原因になります。



禁止



強制



注意

この表示は「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

製品は、一般家庭用です。次のようなところでは使用しない。

- 感電、火災、破損、故障の原因になります。
 - ・ 温室やビニールハウスなど湿度の高いところ、雨や水しぶきがかかるところ。
 - ・ 工場内や飲食店、厨房など油のつきやすいところ。
 - ・ 砂ほこり、綿ほこり、金属粉の多いところ。
 - ・ 室外や40℃以上の高温、もしくは湿度が高くなる場所。
 - ・ ガスレンジなど炎の近くや、引火性のガスのあるところ。

ガードの中や可動部へ指などを入れない。
特に高さ調整時や風向きを変えるときは注意する。

- ケガをする原因になります。

テレビ、ラジオ、補聴器などの近くで使わない。

- 電波が弱いときや室内アンテナ使用時に雑音が入る場合がありますので、影響のないところまで離してご使用ください。

スプレー(殺虫剤、整髪用、掃除用など)をかけない。

- 樹脂や塗装部分に変質したり、破損する原因になります。



禁止

製品を移動するときは引きずらない。

- 床や畳に傷がつく原因になります。

運転中は製品を移動させない。

- 羽根割れやケガの原因になります。

不安定な場所や、カーテンなどの障害物の近くでは使用しない。

- 不安定な場所や首振りや妨げる障害物があると転倒したり、羽根がカーテンなどを吸い込んだり、破損や事故の原因になります。

風を長時間身体に当てない。

- 健康を害する原因になります。特に乳幼児、お年寄り、ご病気の方にはご注意ください。

羽根に貼ってある注意シールは絶対にはがさない。注意シールの内容は必ず守る。

- 事故防止のため法で定められています。

スライドパイプなどの樹脂部に油などをつけない。

- パイプが急に降下して、ケガの原因になります。また、樹脂が変質して破損する原因になります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。

- 感電・ショート・発熱・発火の原因になります。



強制

製品に異常な振動が発生した場合は使用を中止する。

- 羽根やガードが脱落してケガをする原因になります。

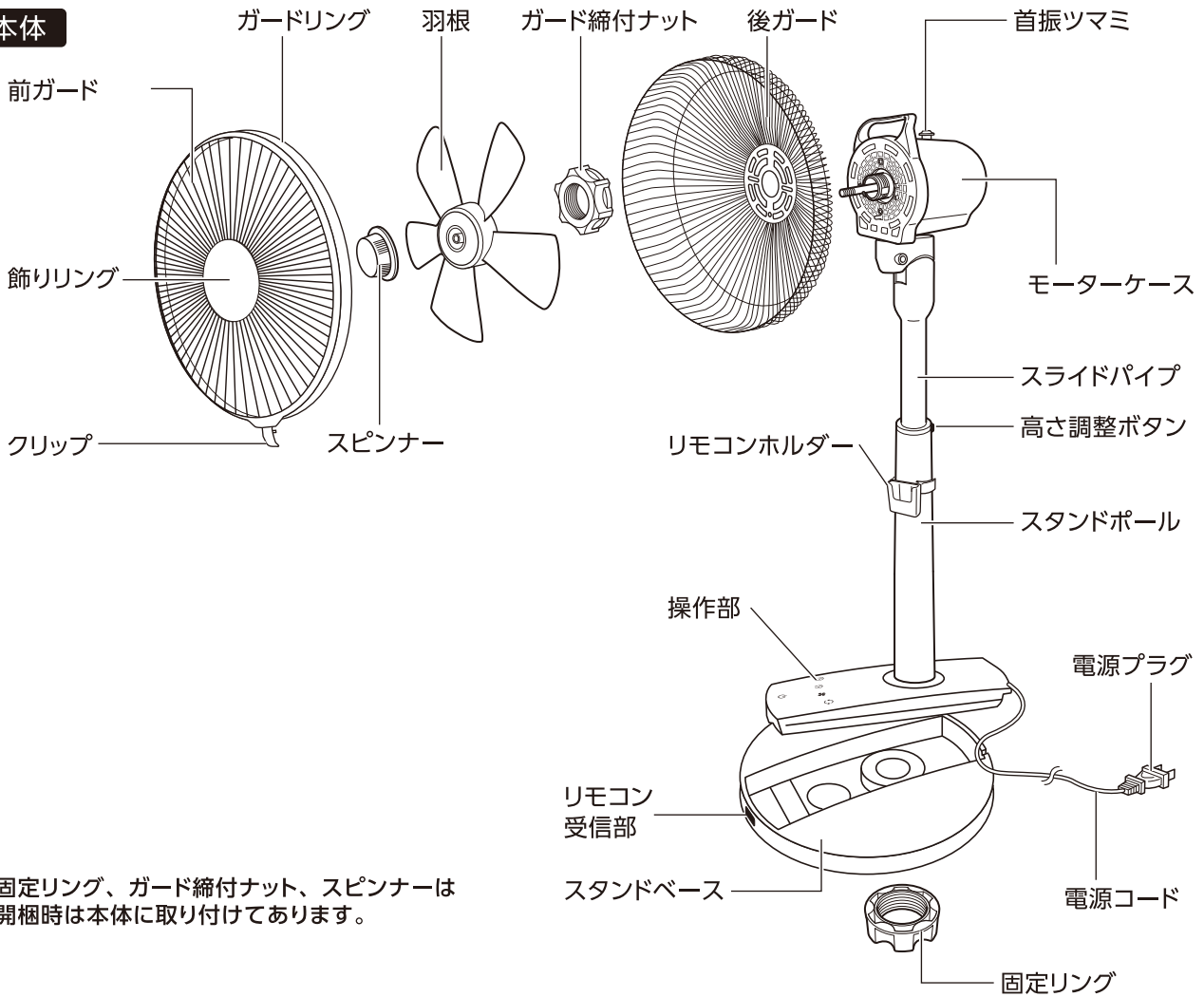
長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く。

- ケガややけど、絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

各部のなまえ

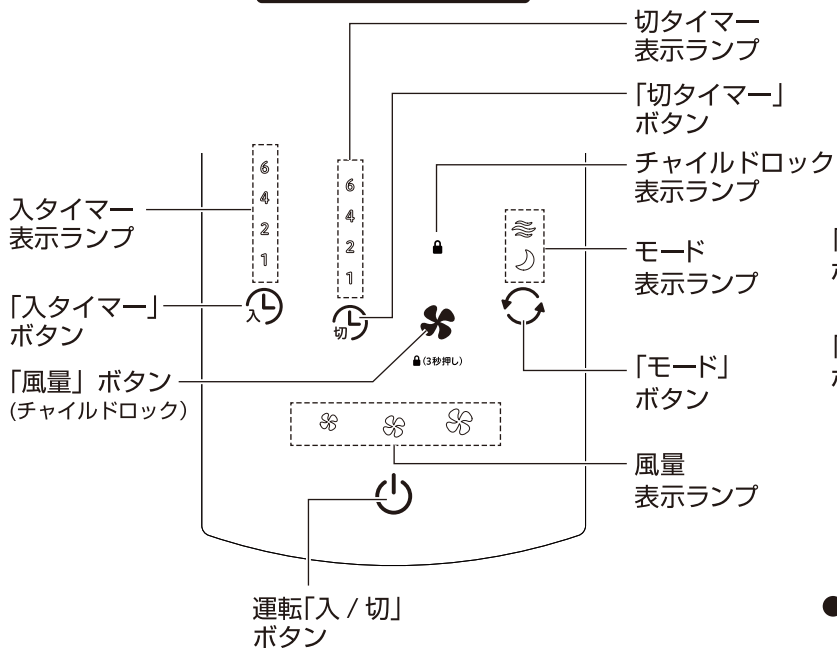
● 電源プラグを交流100Vのコンセントに根元まで確実に差し込んでください。

本体

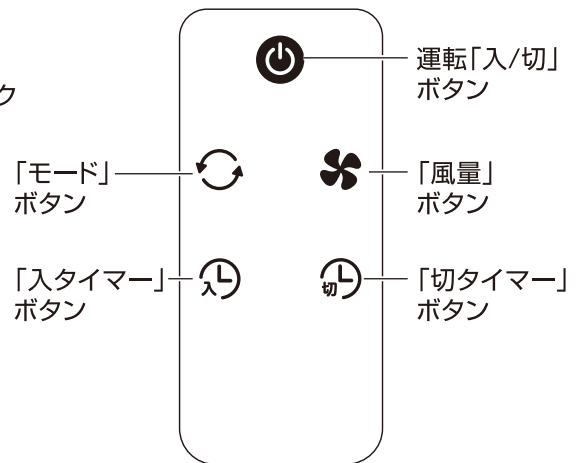


※ 固定リング、ガード締付ナット、スピナーは開梱時は本体に取り付けてあります。

本体：操作部拡大図



リモコン：操作部拡大図



● イラストと実際の製品は多少異なる場合があります。

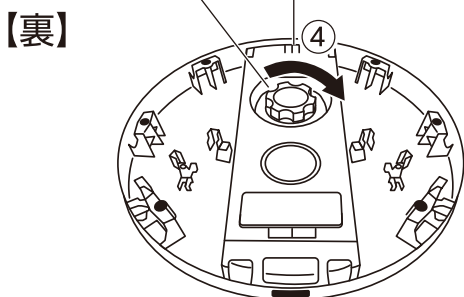
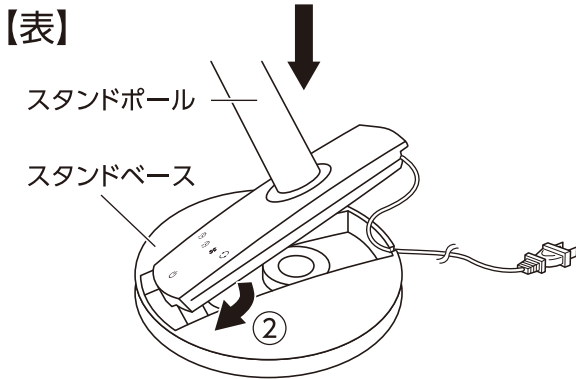
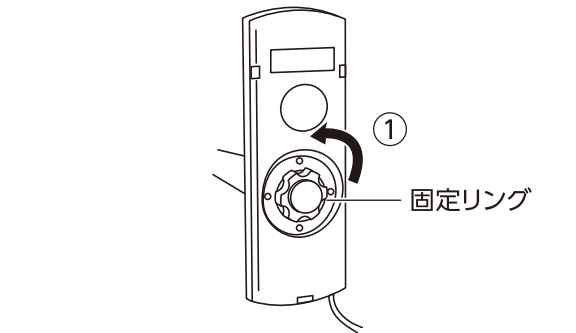
組み立てかた ● ご使用の前には、次の順序で正しく組み立ててください。 ● 包装箱は、保管するときに必要ですので捨てないでください。

1 スタンドベースに スタンドポールを取り付けます。

- ① スタンドポールの裏にある固定リングを外します。
- ② 平らな安定した場所に置いたスタンドベースの表の穴に、スタンドポールの前部を差し込みます。
- ③ スタンドポールを押し込み、スタンドベースに確実にはめ込んでください。このとき電源コードを挟み込まないようにご注意ください。
- ④ 固定リングをスタンドポール底部に取り付け、時計回り方向に回して締め付け、確実に固定してください。

注意

- スタンドポールをスタンドベースに差し込むときは、高さ調整ボタンを押さないでください。
- 指や手を挟まないようにご注意ください。

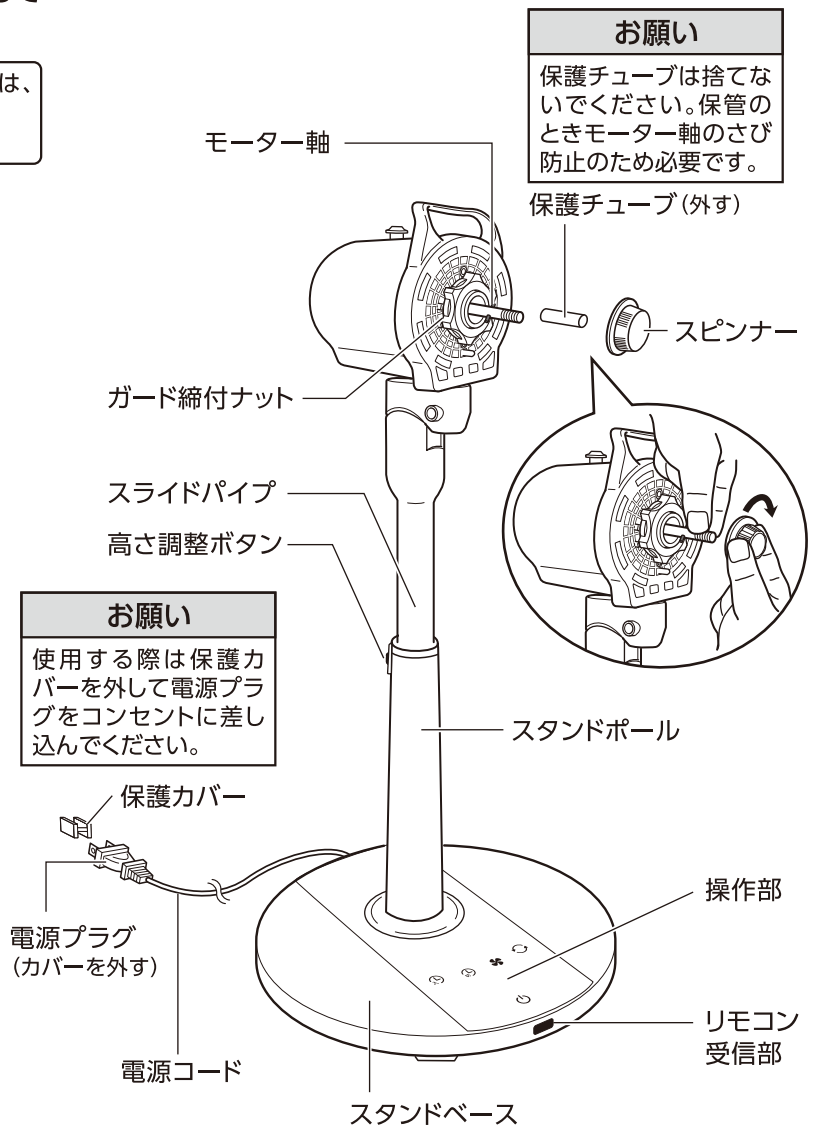


2 ガードの取り付け準備をします。

- 本体に装着されているガード締付ナット、スピナー、モーター軸の保護チューブを取り外してください。

スピナーの取り外し方

モーター軸が回転しないようにモーター軸を持って固定し、スピナーを「ゆるむ」(時計回り)方向へ回し、外してください。

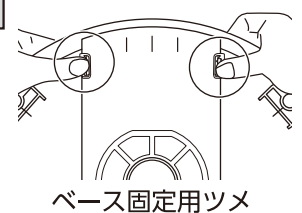


お願い
保護チューブは捨てないでください。保管のときモーター軸のさび防止のため必要です。

お願い
使用する際は保護カバーを外して電源プラグをコンセントに差し込んでください。

スタンドベースを外すときは

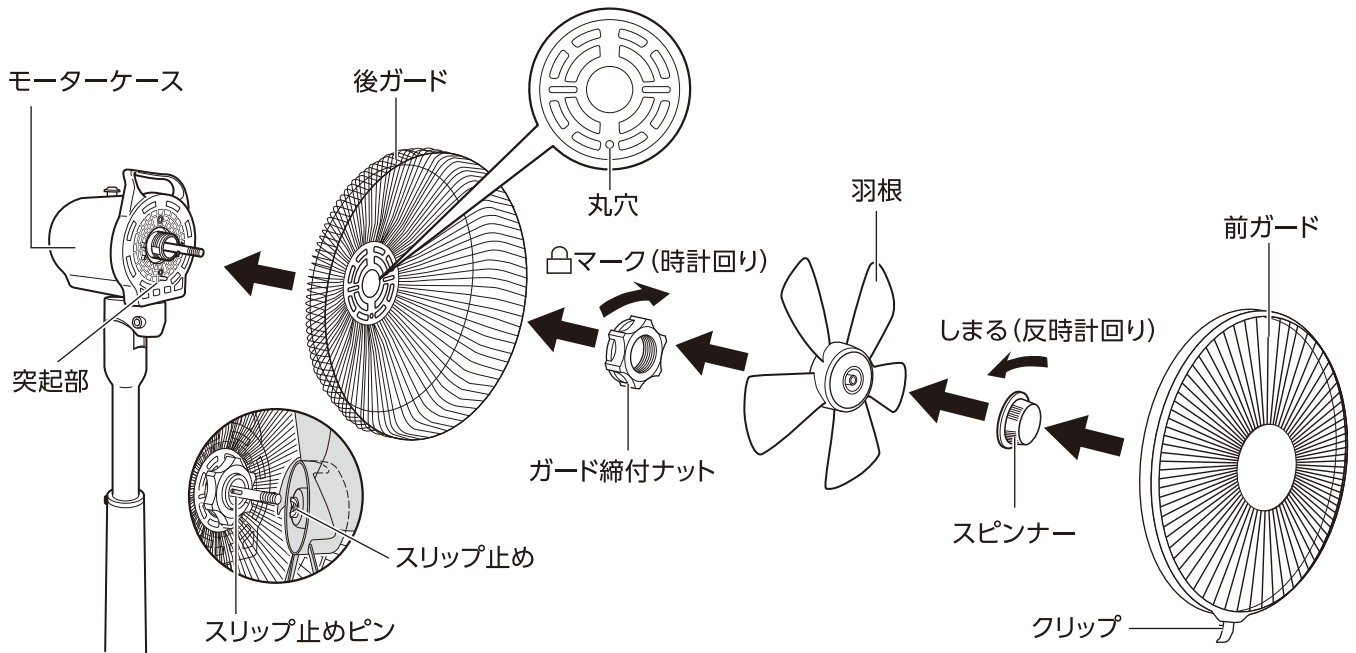
底部の固定リングを外し、背側のベース固定用ツメを外側に開いた後、両側を同時に外側に開き、スタンドベースを外してください。



3 後ガード・ガード締付ナット・羽根・スピナーを取り付けます。

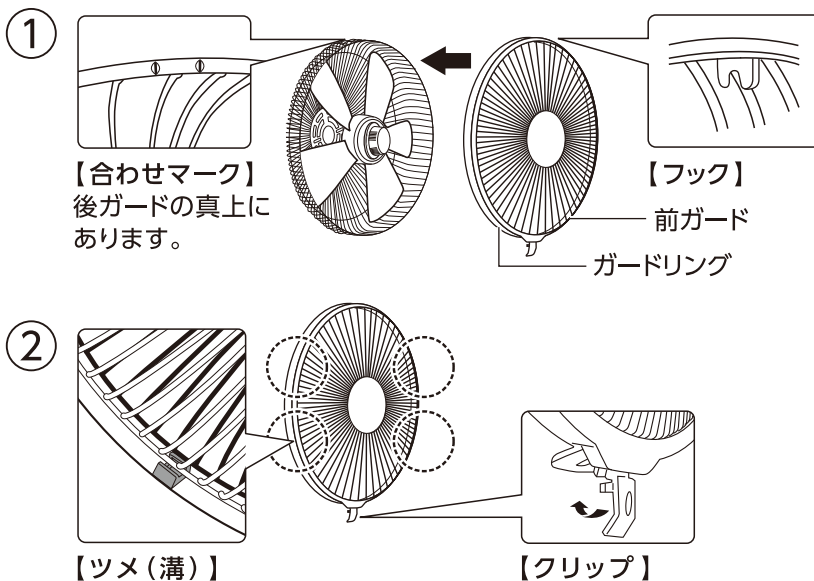
- ①後ガードの丸穴をモーターケースの突起部に合わせてはめ込みます。
- ②ガード締付ナットを「凸」マーク(時計回り)方向へ回し、後ガードを確実に固定してください。
- ③モーター軸に羽根を差し込み、モーター軸にあるスリップ止めピンと羽根のスリップ止めの溝が合うようにセットしてください。
- ④スピナーを「しまる」(反時計回り)方向へ回し、羽根が確実に固定されるまで締め付けてください。

| | |
|----------|--|
| ⚠ 注意 | 羽根の取り付け 羽根は裏表があります。スリップ止めがある方が裏側になりますので、ご注意ください組み立ててください。裏表逆に取り付けると故障の原因になります。 |
| 🙏 お願い | 羽根に貼ってある注意シールは、はがさないでください。事故防止のため法で定められています。 |



4 前ガードを取り付けます。

- ①前ガードのガードリングにあるフックを、後ガードの合わせマークに合わせてひっかけます。
- ②ガードリングのツメの溝を上から順に後ガードに両手で押し込み、ツメ(溝)4か所を確実ににはめ込んでください。最後にクリップで後ガードを挟み込むように止めます。



前ガードを外すときは

- ①スライドパイプを一番下に下げて、前ガードのクリップを外す。
- ②ガードの真上を押さえ、ガードリングの真下を手前に引いてガードを外す。
- ガードは安全のため、外れにくいようかたく設計されていますので、取り付けや取り外しの際はやや強めに力を加えてください。

⚠ 注意 取り付けや取り外しの際に指や手を挟まないようご注意ください。

●イラストと実際の製品は多少異なる場合があります。

使いかた

- 電源プラグを交流100Vのコンセントに根元まで確実に差し込んでください。

操作部 について

- ・ 電源プラグがコンセントに差し込まれていると、操作部の一部が少し熱くなる(室温より約10℃)ことがあります。また、きわめて小さい音(ジー音)がすることもありますが、これらは異常ではありません。(制御回路に待機電流が流れているため)
- ・ 表示ランプの明るさは、まぶしさを軽減する為に、最後に運転を操作してからしばらく(15秒程度)すると暗くなります。

運転「入/切」ボタン

このボタンを押すと運転を開始します。もう一度押すと運転を停止します。

8時間自動OFFタイマー (切り忘れ防止自動OFF機能)

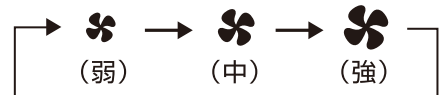
この製品は、**8時間自動OFFタイマー搭載製品**です。最後に運転を操作してから8時間経過すると自動的に電源が切れます。この機能で停止した場合、切タイマー表示ランプの【6】が点滅してお知らせします。再度運転を開始する場合は、運転「入/切」ボタンを押して運転を再開してください。なお、**8時間自動OFFタイマーは解除できません**。

メモリー機能搭載

- ・ 運転「切」後、再び運転「入/切」ボタンを押すと「風量」と「リズム風」のみ記憶されます。
- ・ 電源プラグを抜くと記憶されたメモリーがリセットされます。

「風量」ボタン

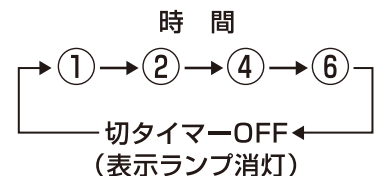
このボタンを押すたびに風量が切り替わり、風量表示ランプが点灯します。



「切タイマー」ボタン

このボタンを押すと切タイマーが設定できます。

- ・ ボタンを押すたびに図のように切タイマーの設定時間が切り替わります。
- ・ 切タイマーを設定すると切タイマー表示ランプが点灯します。
- ・ 時間の経過に合わせて切タイマー表示ランプの表示が切り替わります。
- ・ 設定時間が経過すると、運転を自動的に停止します。



※この製品は、切り忘れ防止のための8時間自動OFFタイマーを搭載しています。切タイマーを設定していなくても、最後に操作してから8時間経過すると自動的に運転を停止します。なお、この機能は解除できません。

「入タイマー」ボタン

このボタンを押すと入タイマーが設定できます。

- ・ 運転を停止しているときに「入タイマー」ボタンを押すと、ボタンを押すたびに図のように入タイマーの設定時間が切り替わります。
- ・ 入タイマーを設定すると入タイマー表示ランプが点灯します。
- ・ 入タイマーの時間を設定した後、「風量」、「首振」をお好みの状態に設定してください。
- ・ 時間の経過に合わせて入タイマー表示ランプの表示が切り替わります。
- ・ 設定時間が経過すると、運転を自動的に開始します。
- ・ 入タイマーで運転開始後、安全のため3時間ボタン操作がない場合は運転を停止(3時間自動OFFタイマー)します。



注意

「入タイマー」を設定した場合は、無人の状態でも運転が開始することが予測されますのでご注意ください。

「切タイマー」「入タイマー」同時設定

※「切タイマー」「入タイマー」の同時設定は、運転中でないと設定できません。

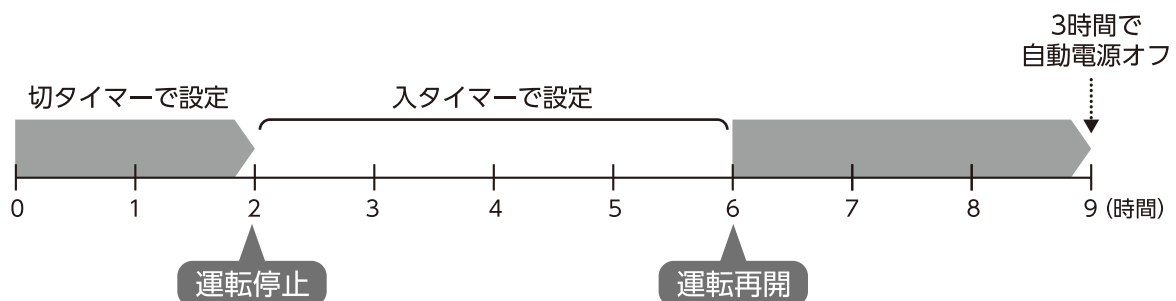
1. 運転中に「切タイマー」ボタンで運転を停止する時間を設定してください。
 - ・ 切タイマー表示ランプが点灯します。
2. 「入タイマー」ボタンで、「切タイマー」によって停止してから運転を再開するまでの時間を設定してください。
 - ・ 入タイマー表示ランプが点灯します。

タイマー表示ランプは時間の経過と連動して、残り時間の目安を表示します。

入タイマー表示ランプが点滅している時(約5秒間)は「風量」の設定を変えることができます。入タイマー表示ランプが点灯に変わった時は、もう一度「入タイマー」ボタンを押すと点滅に変わり、再度設定を変えることができるようになります。

(例) 運転を2時間後に停止させ、停止してから4時間後に運転を開始する場合「切タイマー」を2時間に設定したあと、「入タイマー」を4時間に設定する。

※「入タイマー」の設定時間は「切タイマー」で運転を停止してから、運転を再開するまでの時間です。

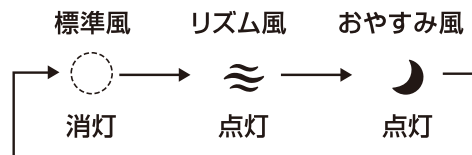


- ・ 入タイマーで運転を開始させ、切タイマーで運転を停止させる設定はできません。
- ・ 入タイマーで運転開始後、安全のため3時間ボタン操作がない場合は運転を停止(3時間自動OFFタイマー)します。運転開始後に風量変更などの操作を行うと、切り忘れ防止のための8時間自動OFFタイマー機能に切り替わります。

「モード」ボタン

このボタンを押すとモードが設定できます。

- ・ ボタンを押すたびに図のようにモードの設定が切り替わり、設定中の「風量表示ランプ」が点灯します。
- ・ 設定中の風量をもとに風の強弱をコントロールして運転します。



【リズム風】：リズムカルに風の強弱をコントロールして、より心地よい自然の風を再現します。

【おやすみ風】：リズムカルに風の強弱をコントロールしながら徐々に風量を弱くしていき、自動的に2時間後に運転を停止します。
その他の時間で運転を停止させたいときは、切タイマーボタンでお好みの時間にセットしてください。

チャイルドロック

製品はお子さまが誤ってボタンを押しても動作をしないように、ボタン操作を保護する機能を搭載しています。

- ・ 本体の「風量」ボタンを3秒以上押し続けると、チャイルドロックを設定できます。
- ・ チャイルドロック表示ランプが点灯して、電源オフ以外の操作ができなくなります。
- ・ 解除するときにはもう一度本体の「風量」ボタンを3秒以上押し続けます。チャイルドロック表示ランプが消灯して全ての操作が可能になります。
- ・ チャイルドロックがオンの状態で運転を停止した場合は、電源をオンにすることはできません。チャイルドロックを解除した後で運転「入/切」ボタンを押してください。

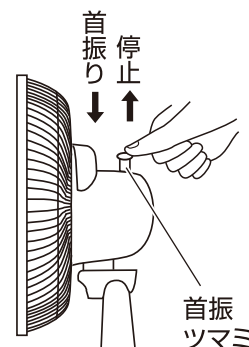


（3秒押し）

首振つまみ

【運転を停止させてから、つまみを操作してください。】

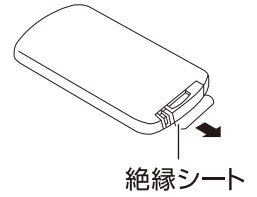
- 押し込むと…首振りします。
 - 引上げると…首振りを停止します。
- ⊘ 首振り運転中に、無理やりガードを動かしたり、固定させたり、首振りを妨げる行為をしないでください。
- 故障の原因になります。



リモコン

1. 絶縁シートを引き抜いてください。

工場出荷の段階で電池がセットされていますので、ご使用前に絶縁シートを引き抜いてください。



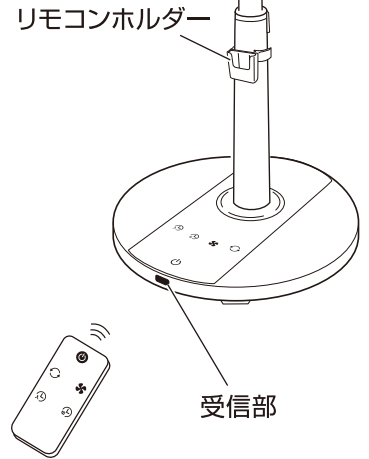
2. 受信部に向けてリモコンのボタンを押します。

操作できる距離は受信部正面で約3m以内です。

リモコン操作はリモコン受信部に対し正面から操作してください。

注意

- ・製品のリモコンで他のリモコン付製品が動作することがありますので、他の製品を近くで取り扱い中はご注意ください。
- ・受信部に直射日光が当たったり、インバーター照明器具、または電子瞬時点灯照明器具を使用している部屋では、リモコンで動作しないことがあります。
- ・リモコンを踏んだり、落としたり、水をかけたりしないでください。破損・故障の原因になります。
- ・送信部と受信部の間に障害物がないようにしてください。
- ・リモコンの操作距離が50cm以内でないと動作しなくなったら新しい電池と交換してください。

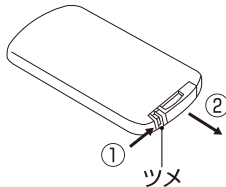


リモコンの紛失防止のため、リモコンホルダーをスタンドポールにかけ、リモコンを収納することをおすすめします。

3. 電池交換について。

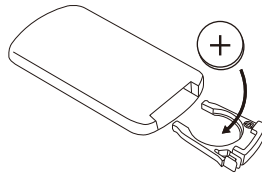
1. リモコンを裏返し、電池ケースを引き出します。

- ① ツメを内側に押しながら、
- ② 手前に電池ケースを引き出します。

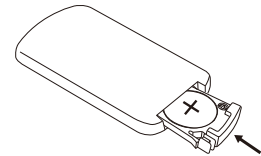


2. 新しい電池を電池ケースに正しく入れます。

必ずプラス(+)面を上にしてください。



3. 電池ケースを矢印の方向に入れます。



※ 長時間使わないときは電池を取り出してください。(液漏れによる故障を防ぎます)

※ 電池はリチウム電池CR2032 DC3Vをご使用ください。その他の電池では、リモコン操作に支障をきたす場合があります。



乳幼児やお子様が悪く電池および電池ケースを飲み込まないようにご注意ください。

高さ調整ボタン

【運転を停止させてから、お好みの高さに調整してください。】

- 高さ調整ボタンを押しながら、スライドパイプを上下にスライドして調整してください。
- 持ち運びする場合は、スライドパイプを一番下に押し下げて固定してください。



 **警告**



禁止

羽根・ガードを付けずに高さ調整ボタンを押したり、運転を開始しないでください。

- モーター部が飛び出して、ケガをする原因になります。



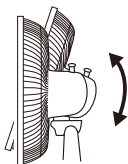
風向きの変え方

【運転を停止させてから、お好みの方向に向けてください。】

- スタンドポールを持ちながら、モーターケースを片手で支えてお好みの方向へ動かしてください。

風向きを上下に変えたいとき

- モーターケースを持って上下に変えます。



風向きを左右に変えたいとき

- モーターケースを持って左右に変えます。



 **警告**

- ・運転中は絶対にガードに触れないでください。
 - 羽根割れやケガの原因になります。
- ・風向き調整時は、ガードを持たずモーターケースを持って行ってください。

 **注意**

- ・誤って操作部に触れないようにご注意ください。
- ・風向きを変えるときなど各部の隙間に手や指を挟まないようにご注意ください。
- ・乱暴に取り扱わないでください。
 - ケガや故障の原因になります。

お手入れのしかた



警告

お手入れの時は必ず運転を停止させ、電源プラグを持ってコンセントから抜いてください。
お手入れは運転停止後約30分待ってから行ってください。

- 感電やケガをする原因になります。

お手入れ

【本体の汚れ】

- ・汚れや油分は、ぬるま湯か中性洗剤を浸した布で拭き取った後、柔らかい布で空拭きをしてください。

【電源プラグのお手入れ】

- ・電源プラグは、水気のない乾いた布などで拭いてください。



注意

- ・ガソリン、シンナー、ベンジン、アルカリ性洗剤、灯油、ベンゾール、アルコール、みがき粉などで拭かないでください。また、殺虫剤などをかけないでください。
 - 樹脂や塗装部分が、変色、変質する原因になります。
- ・化学ぞうきんでこすったり、長時間接触させないでください。
 - 変質したり塗装がはげたりすることがあります。
- ・モーター軸には、クリーム状の潤滑剤が塗ってあります。触らないようにご注意ください。また、絶対に拭き取らないでください。

保管のしかた

保管

組み立て方と逆の順序で取り外してお手入れをした後、次のような点に注意して保管してください。

- 本体や羽根についた汚れや油分はよく拭き取ってください。樹脂が変色したり、破損する原因になります。
- モーター軸はサビ防止のため、保護チューブをはめてください。
- 包装箱に入れ、直射日光の当たらない、湿気の少ないところに保管してください。

故障かな?と思ったら

異常が生じたときは、次の点をお調べください。

| こんなとき | おたしかめください |
|-------------------------|--|
| 運転「入/切」ボタンを押しても羽根が回らない。 | <ul style="list-style-type: none">● 電源プラグはコンセントに確実に差し込まれていますか?● 羽根とガードが当たっていませんか?(P4~5)● チャイルドロックが設定されていませんか?(P8) |
| 羽根は回るが異常音がする。 | <ul style="list-style-type: none">● 羽根は、確実に取り付けられていますか?● ガードは、確実に取り付けられていますか?● 羽根とガードが当たっていませんか? 組み立て方に記載している順序で正しく組み立て直してください。(P4~5) |
| リモコンで動作しない。 | <ul style="list-style-type: none">● 電池が消耗していませんか? 電池を交換してください。● 電池の入れ方(⊕⊖の方向)が間違っていないか?● リモコン送信部と本体受信部との間に障害物はありませんか?(P9)● チャイルドロックが設定されていませんか?(P8) |

上記の処置をしてもなおらなかった場合は、販売店または、家電の119番へ点検・修理をお申しつけください。

● お客様ご自身での修理・改造は、危険を伴いますので絶対にしないでください。

※ 修理には特殊な技術が必要です。

仕 様

| | |
|--------|-----------------------|
| 型 番 | ANGV-FAR30-B |
| 定格電圧 | 100V |
| 定格周波数 | 50Hz / 60Hz |
| 消費電力 | 30W / 35W |
| 電源コード長 | 約1.6m |
| 質 量 | 約3.2kg |
| 寸 法 | 約W360×D360×H670~860mm |

● この製品は日本国内用に設計されています。電源電圧や電源周波数の異なる外国では使用できません。アフターサービスもできません。

This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.
No product service is available outside of Japan.

設計上の標準使用期間について

- 製品の設計上の標準使用期間は8年です。

【ご注意】

※設計上の標準使用期間は、以下の標準的な使用条件の下で、適切な取り扱いで使用し、適切な維持管理が行われた場合に、安全上支障がなく使用することができる標準的な期間として設計上設定されている期間です。

尚、無償保証期間(お買い上げの日から1年間)とは異なります。保証内容などについて、詳しくは裏表紙の保証書をお読みください。

※使用頻度、使用環境、設置場所が下記標準的な使用条件と異なる場合、または、業務用など本来の目的以外の方法で使用された場合は、記載の設計上の標準使用期間より短い期間で経年劣化が起きる可能性があります。



注意

設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火、ケガなどの事故に至るおそれがあります。

- 扇風機の標準使用条件

| | 項目 | 条件 |
|---------|----------|---------------|
| 1. 使用環境 | 温度/湿度 | 30℃/65% |
| | 電源電圧/周波数 | 100V/ 50/60Hz |
| 2. 使用条件 | 設置場所 | 標準設置 |
| | 運転時間(1日) | 8時間/日 |
| 3. 使用頻度 | 運転回数 | 5回/日 |
| | 運転日数 | 110日/年 |
| | スイッチ操作回数 | 550回/年 |
| | 首振運転の場合 | 100% |

※日本産業規格 JIS C9921-1より

※環境条件の湿度65%は、JIS Z 8703の試験状態を参考としています。

アフターサービス

修理を依頼されるときは

- 「故障かな?と思ったら」(P12)をご確認ください。それでも異常があるときは使用を中止し、電源プラグを抜いてください。
- 製品と保証書・お買い上げレシートを準備し、下記のお問い合わせ先か販売店にお問い合わせください。

修理料金の仕組み

- 修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料 診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 修理に使用した部品および補助材料代です。

保証書

保証書は記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

《保証期間中》

保証書の内容に従って修理いたします。

《保証期間が過ぎている場合》

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

※場合によっては修理できない場合もございます。

補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品を製造打ち切り後、8年間保有しております。

※補修用性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

ご相談窓口・修理窓口のご案内

お取扱い・修理に関しては販売店へご相談ください。

※販売店にご依頼できない場合（転居や贈答品など）は下記の各お問い合わせ先にご相談・お問い合わせください

お客様の個人情報の取り扱いについて

ご提供いただいたお客様の個人情報は、ご意見・ご質問への回答および弊社のお客様サービス向上のために利用させていただきます。ご質問の内容によりましては、適切な回答のためエディオングループ、および関係会社に情報を提供する場合もございます。その他、ご提供頂いたお客様の個人情報はエディオングループ個人情報保護方針に基づいてお取り扱いいたします。

エディオングループ個人情報保護方針 <https://www.edion.co.jp/privacy>

お問い合わせ先

～製品に関するお問い合わせ～

エディオンお客さま相談センター



受付時間：月曜日～金曜日
9:30～18:30（土日祝・年末年始除く）

0570-07-0557

有料

※番号をお確かめの上、お掛け間違いのないようお願いいたします。※所在地・電話番号・受付時間等につきましては、変更になる場合がございます。

(2026.3月時点)

～修理に関するお問い合わせ～

家電の119番



受付時間：月曜日～日曜日
9:00～19:00（年中無休）

0570-06-0119

有料

※年末年始に関しては受付時間が変更となる場合がございます。※番号をお確かめの上、お掛け間違いのないようお願いいたします。



(2026.3月時点)

愛情点検

●長年ご使用の扇風機の点検を！



こんな症状は
ありませんか

- 電源を入れても作動しない。
- 羽根が回っても異常に回転が遅かったり不規則。
- 回転するときに異常な音がする。
- モーター部分が異常に熱かったりコゲくさいにおいが出る。

ご使用
中止

事故の防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご依頼ください。